

令和2年度第2回 稲沢市地域公共交通会議 会議録

【日 時】 令和2年11月10日（火）

午前10時00分から午前11時40分まで

【場 所】 稲沢市勤労福祉会館 多目的ホール

【出席委員数】 19名（1名欠席）

【傍聴者数】 1名

【議事次第】

1 あいさつ【嶋田会長】

2 議事

報告事項1 稲沢市コミュニティバス及びコミュニティバス接続便の利用
状況報告について

報告事項2 稲沢市コミュニティバス利用者アンケート調査結果報告につ
いて

協議事項1 『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』変更について

3 その他

(1) 「稲沢おでかけタクシー実証実験」の実施について

(2) その他

【議事内容】

2 議 事

報告事項1 稲沢市コミュニティバス及びコミュニティバス接続便の利用状況
報告について

- 資料番号1に基づき、平成31年4月1日から令和2年9月30日までの「稲沢市コミュニティバス及びコミュニティバス接続便の利用状況報告書」の説明を行った。

【主な意見】

- ・ コミュニティバス接続便を実際に利用している方は何名程度か。

→ 令和2年9月の利用状況から分析しますと5名から7名程度の方が利用されているのではないかと考えております。

報告事項2 稲沢市コミュニティバス利用者アンケート調査結果報告について

- 資料番号2に基づき、令和2年9月7日から19日までの期間におけるコミュニティバス利用者を対象とした「稲沢市コミュニティバス利用者アンケート調査」の結果についての説明を行った。

【主な意見】

- ・ 一部の市民センター地区においては2名～3名の方のみの意見となっており、この調査結果をもって地域全体の意見として取り扱うことに関しては適切ではないと考えるが事務局としてはどのように考えているか。

今後、地域の意見を何うような取り組みは検討されているか。

- ・ 現在のバスの利用状況を勘案しても、調査対象者数135人ではサンプル数として不足していると考えられる。今回のアンケート調査結果は参考資料として取り扱うべきではないか。

→ 今回のアンケートについて、平成24年、平成28年に実施した同アンケートを結果と比較すると配布数及び回答数のいずれも低調となっています。

コロナ禍の影響によって実利用人数が減少しており、その結果がアンケートにも影響されたものであると考えております。

御質問のとおり、地域によっては回答者が非常に少ない地区があるため、今回の調査結果については、コロナ禍における参考資料として活用してまいります。

また、市民の皆様の御意見をお伺いする取り組みとして、来年度市民アンケートの実施を予定しております。

協議事項1 『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』変更について

- 資料番号3、4に基づき、『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』変更について事務局より説明を行い、協議の結果、「同計画」の変更について**合意を得た。**

【主な意見】

- ・ 資料番号3について、下水道工事の期間についてはどのようにになっているか。また工事終了後の対応はどのように考えているか。

→ 下水道工事については令和4年3月31日までとなっておりますが、工事終了時期については若干前倒しになる可能性があると伺っております。

工事終了後には、令和2年4月1日以前の元の路線に戻りたいと考えておりますので、その際は御協議いただきますようよろしくお願い致します。

- 資料番号4の大里線の変更について、アンケートでも多く要望を寄せられていた便数を削減してまで「市民病院～国府宮駅」間の路線を延長する理由をお伺いしたい。

現在の大里線は「大里駅」を中心に運行しており、バス利用の目的が「鉄道への乗車」であれば、国府宮駅まで路線を延長することの関しての疑問を感じる。

→ 御質問いただきましたとおり「大里線」につきましては、平成31年4月の見直しの際に「大里駅」を中心として大里地区を循環する路線として運行を開始しました。

今回の変更案については、平31年4月以降のOD調査やアンケート調査結果による利用者の御意見、運行路線沿線の住民の方の御要望、乗務員からの情報提供などから、「国府宮駅」へのアクセスを確保することによって、同線の利便性が向上し、利用状況が改善することを期待して路線を変更するものです。

特に「大里線」については、コロナ禍以前より利用状況が厳しい状況にありますので、早急に対応が必要と考えております。

今後のOD調査時には同線の鉄道駅利用の方に対して降車後の動向を確認する項目を設け、追跡調査を実施してまいります。

- 稲沢中央線の時刻変更について補足説明

「JR稲沢西口～国府宮駅」間の運行については、平成26年11月から稲沢市と共同運行を開始したが、当初から利用状況は低調であり、現在はコロナ禍の影響が大きく、0人から3人程度の利用しかいないため、非常に厳しい状況である。また同線は遅延が発生しやすく、乗務員の休憩時間の確保が困難な場合もある。そういった状況を考慮し、今回の同区間の一部削減案を提示させていただいた。

今後も引き続き利用状況を注視し、利用状況が改善されるのであれば、

改めて時刻表の変更を検討させていただく。

【名鉄バス株式会社】

3 その他

(1) 「稲沢おでかけタクシー実証実験」の実施について

- 資料番号5に基づき「利用状況」、資料番号6に基づき「利用登録者アンケート結果」を説明。

【主な意見】

- ・ 1日あたり80件程度の利用が見られるが、予約の成立状況はどのようになっているか。また、1日あたりの市内のおでかけタクシーは何台程度運行しているか。

→ 朝の早い時間帯や雨天時は連絡が集中し、予約が取りづらいとの意見をいただいております。

本事業に御協力いただいている市内の事業者の全ての車両が「おでかけタクシー」として運行することが出来るよう調整しており、市内では凡そ30台から40台程度のタクシー車両が運行しているものと認識しております。

- ・ アンケート結果より、「予約受付時間」や「運行時間」に「やや不満・不満」の回答が寄せられているが、実際どのようにしてほしいと望んでいるか。

→ 自由記述の内容を集計しておりますと、「予約受付時間」や「運行時間」の完全な撤廃を望まれる意見が多く記載されておりました。

(2) その他

- ・ 参考資料に基づき「令和2・3年度のスケジュール」について

【地域協働課】

- ・ 「地域公共交通網形成計画」策定について

【中部運輸局愛知運輸支局】

- ・ 国府宮駅からUFJに至る横断歩道への信号機の設置依頼

【愛知県交通運輸産業労働組合協議会】

以上で閉会した。